

## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月30日

上場会社名 株式会社働楽ホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 5573 URL https://www.doraku-holdings.co.jp  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)西島 富久  
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)滝安 美弘 TEL 03-5577-5333  
定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日  
発行者情報提出予定日 2024年6月28日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	3,079	0.4	143	△15.5	138	△23.6	116	△20.3
2023年3月期	3,068	8.6	169	50.6	181	34.2	145	44.9

(注) 包括利益 2024年3月期 118百万円 (△19.6%) 2023年3月期 147百万円 (45.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	210.99	—	13.4	9.3	4.7
2023年3月期	264.68	—	19.7	13.4	5.5

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 (ー%) 2023年3月期 ー百万円 (ー%)

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	1,561	927	58.9	1,673.46
2023年3月期	1,412	813	57.3	1,471.47

(参考) 自己資本 2024年3月期 920百万円 2023年3月期 809百万円

## (3) 連結キャッシュフローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	42	△147	45	484
2023年3月期	243	△91	△56	544

## 2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	0.00	9.00	9.00	4	3.4	0.7
2024年3月期	0.00	9.00	9.00	4	4.3	0.6
2025年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 2025年3月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	13.7	160	11.7	170	22.4	126	8.6	229.10

#### ※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動 : 無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期	550,000株	2023年3月期	550,000株
② 期末自己株式数	-株	2023年3月期	-株
③ 期中平均株式数	550,000株	2023年3月期	550,000株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報) .....	10
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、円安の進行、日本、米国等における高水準のインフレやロシアのウクライナへの軍事侵攻による影響等もあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループが属するシステム開発事業については、テレワークなどの働き方改革やDX（デジタルトランスフォーメーション）化が更に進展することによる需要の高まりにより、こうした新しい事業に対応した企業は好業績を上げています。コロナ禍の影響で延伸や中断となっていたIT投資プロジェクトも再開し、ITサービス事業者の受注状況は回復しており、国内ITサービス市場はプラス成長に回復すると市場予測が発表されています。

当社グループのITシステム開発業務については、昨今のIT人材の不足により当初計画に対してエンジニアの採用、およびパートナー会社からの人材支援が進まず、獲得案件の伸びが見通しに達しなかったことに加えて、一部案件が、顧客の都合により次年度へ延伸となるとともに、ITシステム開発業務の新規ソリューションの事業化立上げに時間を要した等の要因により、当連結会計年度は、売上が前連結会計年度同等、利益減の結果となりました。ヘルスケア支援システム業務については、既存顧客からの売上の順調な伸びに加えて、提案活動の強化による新規顧客の獲得を推進し、売上、利益とも順調に推移しました。

以上のような背景のもと、当連結会計年度における売上高は3,079,141千円（前年同期比0.4%増）、営業利益は143,272千円（前年同期比15.5%減）、経常利益は138,880千円（前年同期比23.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は116,043千円（前年同期比20.3%減）となりました。

なお当社グループは、システム開発事業の単一セグメントのため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (ア) 流動資産

当連結会計年度末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ88,052千円増加し、1,117,007千円となりました。これは主として、現金及び預金が59,774千円減少、売掛金が155,344千円増加したことが要因であります。

#### (イ) 固定資産

当連結会計年度末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ60,699千円増加し、444,478千円となりました。これは主として、ソフトウェアが21,801千円、ソフトウェア仮勘定が26,275千円増加したことが要因であります。

#### (ウ) 流動負債

当連結会計年度末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ62,001千円増加し、610,862千円となりました。これは主として、1年内返済予定の長期借入金が72,088千円増加したことが要因であります。

#### (エ) 固定負債

当連結会計年度末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ26,971千円減少し、23,414千円となりました。これは主として、長期借入金が21,465千円減少したことが要因であります。

#### (オ) 純資産

当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ113,721千円増加し、927,209千円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する当期純利益116,043千円を計上したことが要因であります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、484,262千円（前年同期は544,036千円）となりました。当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は42,102千円（前年同期は243,376千円の獲得）となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益の計上134,497千円、減価償却費の計上74,378千円、売上債権の増加額155,344千円によるものです。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は147,549千円（前年同期は91,467千円の使用）となりました。これは主として、無形固定資産の取得による支出110,491千円、敷金の差入による支出32,659千円によるものです。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、獲得した資金は45,673千円（前年同期は56,994千円の使用）となりました。これは主として、長期借入れによる収入100,000千円、長期借入金の返済による支出49,377千円によるものです。

### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、ロシアのウクライナへの軍事侵攻、米中対立に起因する各国の輸出抑制による自由貿易の停滞、及び欧米の金融不安の影響により先進国においてインフレーションが進行するなど混迷の様相を呈しております。

日本経済においては、円安進行による原材料費高騰等の影響により先行き不透明感が増しています。当社グループが属するシステム開発事業においては、DX推進による省力化ならびに競争力向上に社会的な期待が高まっており、従来システムの刷新など新たな需要による新規投資が拡大基調にあります。

このような環境の中、翌連結会計年度（2025年3月期）の連結業績見通しにつきましては、サマリー情報「3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）」に記載の通りです。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であるため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、IFRSの適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	544,036	484,262
売掛金	394,006	549,350
仕掛品	42,292	16,324
前払費用	3,524	4,025
その他	45,095	63,045
流動資産合計	1,028,955	1,117,007
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	37,840	35,891
工具、器具及び備品（純額）	20,796	14,908
有形固定資産合計	58,637	50,800
無形固定資産		
ソフトウェア	161,660	183,462
ソフトウェア仮勘定	-	26,275
無形固定資産合計	161,660	209,737
投資その他の資産		
投資有価証券	10,500	-
繰延税金資産	48,694	41,336
関係会社株式	21,032	21,032
その他	84,389	121,571
貸倒引当金	△1,135	-
投資その他の資産合計	163,480	183,941
固定資産合計	383,778	444,478
資産合計	1,412,734	1,561,486

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	132,313	161,027
1年内返済予定の長期借入金	49,377	121,465
未払金	112,814	98,153
未払費用	23,283	21,513
未払法人税等	20,352	749
未払消費税等	29,164	17,362
賞与引当金	138,692	118,053
資産除去債務	-	6,186
その他	42,864	66,351
流動負債合計	548,861	610,862
固定負債		
長期借入金	21,465	-
資産除去債務	28,920	23,414
固定負債合計	50,385	23,414
負債合計	599,246	634,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,500	42,500
利益剰余金	766,807	877,900
株主資本合計	809,307	920,400
非支配株主持分	4,181	6,808
純資産合計	813,488	927,209
負債純資産合計	1,412,734	1,561,486

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	3,068,151	3,079,141
売上原価	2,096,707	2,060,187
売上総利益	971,444	1,018,953
販売費及び一般管理費	801,968	875,680
営業利益	169,475	143,272
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	-	307
助成金収入	8,303	682
受取保険金	3,000	-
物品売却益	2,576	60
受取返戻金	-	547
その他	591	361
営業外収益合計	14,475	1,962
営業外費用		
支払利息	440	207
為替差損	1,541	6,003
その他	228	144
営業外費用合計	2,210	6,354
経常利益	181,740	138,880
特別損失		
投資有価証券売却損	-	4,383
特別損失合計	-	4,383
税金等調整前当期純利益	181,740	134,497
法人税、住民税及び事業税	39,981	8,468
法人税等調整額	△5,826	7,357
法人税等合計	34,154	15,826
当期純利益	147,586	118,671
非支配株主に帰属する当期純利益	2,012	2,627
親会社株主に帰属する当期純利益	145,573	116,043

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	147,586	118,671
包括利益	147,586	118,671
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	145,573	116,043
非支配株主に係る包括利益	2,012	2,627

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計		
当期首残高	42,500	626,183	668,683	2,168	670,851
当期変動額					
剰余金の配当		△4,950	△4,950		△4,950
親会社株主に帰属する 当期純利益		145,573	145,573		145,573
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)				2,012	2,012
当期変動額合計	-	140,623	140,623	2,012	142,636
当期末残高	42,500	766,807	809,307	4,181	813,488

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計		
当期首残高	42,500	766,807	809,307	4,181	813,488
当期変動額					
剰余金の配当		△4,950	△4,950		△4,950
親会社株主に帰属する 当期純利益		116,043	116,043		116,043
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)				2,627	2,627
当期変動額合計	-	111,093	111,093	2,627	113,721
当期末残高	42,500	877,900	920,400	6,808	927,209

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	181,740	134,497
減価償却費	62,741	74,378
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	-	△1,135
賞与引当金の増減額 (△は減少)	16,099	△20,639
受取利息及び受取配当金	△4	△311
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	4,383
支払利息	440	207
売上債権の増減額 (△は増加)	52,449	△155,344
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△32,395	21,420
仕入債務の増減額 (△は減少)	516	28,713
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△9,566	△11,802
その他	△9,407	7,761
小計	262,613	82,129
利息及び配当金の受取額	4	311
利息の支払額	△440	△204
法人税等の支払額	△39,241	△50,354
法人税等の還付額	20,440	10,220
営業活動によるキャッシュ・フロー	243,376	42,102
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,183	△3,632
無形固定資産の取得による支出	△75,848	△110,491
投資有価証券の売却による収入	-	6,117
保険積立による支出	△5,513	△5,435
敷金の差入による支出	-	△32,659
長期前払費用の取得による支出	-	△1,447
その他	77	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△91,467	△147,549
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	△52,044	△49,377
配当金の支払額	△4,950	△4,950
財務活動によるキャッシュ・フロー	△56,994	45,673
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	94,915	△59,774
現金及び現金同等物の期首残高	449,121	544,036
現金及び現金同等物の期末残高	544,036	484,262

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、システム開発事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,471円47銭	1,673円46銭
1株当たり当期純利益	264円68銭	210円99銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	145,573	116,043
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	145,573	116,043
普通株式の期中平均株式数(株)	550,000	550,000

(重要な後発事象)

該当事項はありません。